

区議会だより

Minato City Assembly Newsletter



令和8年 議長新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。

区民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、港区議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済に一定の好影響をもたらしたと評価される「2025年大阪・関西万博」の開催や、共生社会の実現に向けた取組として注目された「夏季デフリンピック競技大会」の東京開催など、明るい話題がありました。一方で、個人消費の低迷や物価上昇の影響は依然として区民生活や区内企業の活動に影を落としております。また、団塊世代が全員75歳以上となる「2025年問題」に関連し、港区におきましても、超高齢化と合わせ、社会を支える現役世代の減少につながる少子化等の課題に直面しております。こうした課題に迅速に対応すべく、区議会は区民生活を支える施策について審議し、区議会として責任をもって議案等の議決・承認をしてまいりました。

議会と行政は、車の両輪のごとく互いに補完し

合い、それぞれの権限と役割の下、公正な区政運営を目指しております。区民の声を真摯に受け止め、議論を尽くし、区民福祉の向上に努めることが私たちの使命であります。

現在、2040年代を見据えた港区の将来像を示す「MINATO ビジョン」の策定が進められています。私たち区議会としても、港区に住み、働き、学ぶすべての皆さんにとって、港区が将来に希望を抱けるまちとなるよう、区民の皆さんの意見を反映しながら、地域の課題解決に資する政策を積極的に提案してまいります。

今後も、区議会議員32名が常に区民一人ひとりの思いを中心に据えた、円滑な議会運営ができるよう、力を尽くしてまいります。

結びにあたり、区民の皆さんにとりまして新しい年が、夢と希望に満ちた素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

港区議会議長
土屋 準



目 次

議長新年のあいさつ	1
新春を迎えて各会派の抱負	2～4
概要	5
代表・一般質問	6～11
委員会の活動記録	12・13
審議結果、請願	14・15
お知らせ	16

港区議会

〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話 03-3578-2920 FAX 03-3578-2932



○ホームページ

<https://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>



○フェイスブック

<https://www.facebook.com/minatokugikai/>

表紙をあなたの写真で飾りませんか？

【写真のテーマ】

私が好きな港区の風景
(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。

問い合わせ

区議会事務局議会広報担当
電話 03-3578-2920



新春を迎えて 各会派の抱負

■■ 自民党議員団 ■■

新春を迎え、区民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。平素より港区自民党議員団に温かいご支援を賜り、深く御礼申し上げます。本年は丙午、駆ける馬の勢いと、新たな道を切り拓く力を象徴する年です。私たちも地域を支える基盤政党として、その歩みを「早く」、「着実」に進めてまいります。

地方自治は「二元代表制」のもと、議会と行政が対等の立場で区政を担います。港区において議会は、行政をただ批判チェックするだけではなく、現実的な政策判断に導き、区民生活の安定を守る責務を負っています。区民に付託された最大会派としての自覚をもって、清家区長の公約の中に理念先行で不安を招きかねない点があれば、実現可能性と財政的持続性を丁寧に検証し、区政が混乱なく前へ進むよう確かな調整を行っ

てまいります。

国政では高市総裁のもと、わが党は眞の国民保守政党としての原点を再確認し、国と地方が一体となって地域に根を張る政治を推進しています。私たち議員団もその理念を受け継ぎ、地域課題に対して丁寧な対話と実行力で向き合い、区民の皆さまが安心して暮らしつづけられる港区の未来を築いてまいります。

子ども・子育て、高齢者福祉、まちづくり、防災、産業、環境、文化、スポーツ。どの分野でも区民の声を最も身近に受け止められるのは我々地方議会です。今年もその皆さまの声に耳を澄ませ、現場から生まれる政策を確かな形として実らせてまいります。

本年が区民の皆さまにとりまして、明るく穏やかな一年となりますよう心より祈念申し上げます。



三田 あきら



ませ のりよし



やなざわ 亜紀



鈴木 たかや



土屋 準



ゆうき くみこ



二島 豊司



池田 こうじ



清原 和幸



うかい 雅彦



■■ みなと未来会議 ■■

新年明けましておめでとうございます。旧年中は温かいご支援、ご意見を賜り、心より御礼申し上げます。

依然として物価高や高額な社会保険料、税負担の増加など、区民生活を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、皆さまの暮らしを少しでも安心できるものとするため、負担の軽減と将来につながる投資の両立をこれまで以上に丁寧に進めてまいります。みなと未来会議は、日々寄せられるご意見やご相談を区政に確実に届け、多様な声が政策に反映される仕組みづくり

を重視して活動してきました。港区では今後、人口増加やまちづくり、国際化の進展により、地域ごとに異なる課題が一層顕在化していくと見込まれます。だからこそ現場の声を丁寧に伺い、地域の実情に根ざした提案を積み重ねることが重要だと考えております。

区民の皆さんとともに、より良い港区の未来を着実に形にしていく一年としていく決意です。

本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。



さいとう 陽平



石渡 ゆきこ



玉木 まこと



榎本 あゆみ



なかまえ 由紀



七戸 じゅん

■■ 港区保守系議員団 ■■

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様、また関係各位におかれましては多大なる温かいご支援とご鞭撻を賜り、会派一同、心より感謝と御礼を申し上げます。港区政は、清家区長の誕生から一年以上が経って、落ち着きながらも新しい風が吹き、行政には今までなかつたさまざまな改善もなされております。今思えば当時の初の女性区長の誕生は初の女性総理の誕生の前触れだったのかもしれません

。今、世界は保守的な政治を求めており、イギリスもフランスもドイツもイタリアも保守的な政治家が躍進しており、日本も例外ではありません。港区民の生活の安全を守る、生活水準の向上、港区の伝統と文化を守る。こうした取組を港区保守系議員団は、日々政策実現に向け邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



とよさき くにひろ



新藤 加菜



白石 さと美



根本 ゆう



榎本 茂



新春を迎えて 各会派の抱負

■■ 公明党議員団 ■■

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、皆さまには、日頃より温かくも力強いご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて昨年は高輪ゲートウェイティに商業施設「ニュウマン高輪」の開業、区では福祉施設「青山ふれ愛テラス」や老人施設「青山スクウェア」が設置されました。

私たち公明党議員団は国や東京都とのネットワークを駆使し、区民の皆さまの安全を確保し、さらに安

心して頂ける港区となるよう、力を尽くしてまいります。

皆さまには幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



野本 たつや



なかね 大



丸山 たかのり



池田 たけし

■■ 立憲民主党議員団 ■■

新年明けましておめでとうございます。日頃より暖かいご支援に心から御礼申し上げます。物価高等々で私たちの暮らしは日々厳しくなっています。今年も区民の皆様に寄り添い、政策実現のために全力を尽くします。本年もよろしくお願ひいたします。



兵藤 ゆうこ



阿部 浩子

■■ 共産党議員団 ■■

あけましておめでとうございます。平和を守るため港区平和都市宣言40周年に、中学生の広島派遣、平和のつどいに取り組みました。区民要求実現へ、5歳児健診や宅配ボックス設置費助成等提案し実現。今年も皆さんと力を合わせて頑張ります。



福島 宏子



風見 利男

■■ 港区れいわ新選組 ■■

皆様のお声を胸に、先進的でやさしい港区をつくるために取り組んで参ります。



森 けいじろう

■■ 都民ファーストの会 ■■

飛躍進展の年となるよう、区民の皆様と共に歩んでまいります。



琴尾 みさと

■■ 小倉 りえこ ■■

新年が皆さんに穏やかな幸せと笑顔あふれる日々をもたらす一年となりますように。



小倉 りえこ



会議日程

令和7年第4回定例会	月 日	会 議 名	内 容
	11月 27日	議会運営委員会 本会議	会期決定 諸報告 代表・一般質問 4名
	11月 28日	本会議 議会運営委員会	代表・一般質問 7名 議案等付託
	12月 1日	総務常任委員会	報告事項、議案等の審査、委員長報告
		保健福祉常任委員会	議案等の審査
		建設常任委員会	視察
		区民文教常任委員会	議案等の審査、委員長報告
	12月 2日	議会運営委員会 本会議	先議案件の議決
		総務常任委員会 建設常任委員会	議案等の審査
	12月 3日	総務常任委員会	議案等の審査
		区民文教常任委員会	請願等の審査
	12月 5日	4 常任委員会 6 特別委員会	委員長報告・中間報告等
		議会運営委員会 本会議	議案等の議決



定例会の概要

●代表・一般質問

→ P6～11「代表・一般質問」



区長、教育長及び選挙管理委員会委員長に対して、計 11 名の議員から代表・一般質問が行われました。

●議案等の審議

・条例改正・補正予算等

→ P14～15「議案等の審議結果」



条例改正・補正予算など 42 件を原案どおり可決・承認、1 件を継続審査としました。

●請願

・継続審査 (11 件)

→ P15「皆さんから提出された請願」



(請願一覧)



区議会の情報をご覧ください

港区議会では、「みなと区議会だより」のほか、ホームページ、フェイスブックなどを活用して、区議会のさまざまな情報をお届けしています。ぜひ、区議会の情報をご覧ください。

・ホームページ

会議情報、請願・陳情、傍聴、議員紹介、審議結果、区議会のあらましなどの情報を掲載しています。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただくことができます。



・フェイスブック

会議のお知らせや、さまざまな活動について情報発信しています。皆さんからの「いいね！」をお待ちしています。



代表・一般質問

11月27・28日

※代表・一般質問は要約して掲載しています。詳しくは、右の二次元コードを読み取り「動画配信」をご覧ください。



■■■自民党議員団 ■■■

区長公約について

Q. 減災目標を3年で半減させることについて

A. 港区地域防災計画における12の減災目標のうち、「受援応援体制の充実・強化」「避難先における通信環境の確保」「災害時トイレの確保」「無電柱化の推進」の4つの指標を達成しており、当初令和12年度までに被害を概ね半減する目標を前倒しし、令和9年度までに達成させる。

Q. 女性管理職比率50%を実現させることについて

A. 仕事と家庭の両立が図れる職場環境の整備や、より上位の職への昇任に伴う不安を払拭するサポート体制やキャリア形成支援などの環境整備を進め区長としての在任期間で実現を目指す。

Q. 財源捻出の50億円を実現することについて

A. 路面高圧洗浄作業など引き続き事務事業評価における見直しを徹底する。

Q. 米軍ヘリポート基地の撤去について

A. 今後も米軍ヘリポート基地の早期撤去を要請する。



東京都都市整備局ホームページから引用

補正予算・区役所改革について

Q. 議会、所管委員会と議論が十分に行われたか

A. DX推進・行財政等対策特別委員会を設置しており、集中的に審議を行うものと考えるが、今後も常任委員会なども含め議論を行い、丁寧な説明に努める。指揮命令系統の一元化や業務の集約化、執行体制の強化は、可能な限り速やかに進め、執行体制については、区長の責任において決定する。

Q. なぜ詳細が決まる前に急いで進めるか

A. 都心5区の大規模ビル空室率は1.38%と低く今後も低下が見込まれる中で必要とする条件を満たした物件の借用の見込みが立ったため。

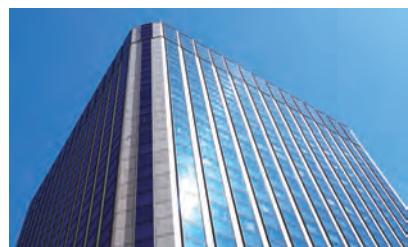
Q. 総合支所から多くの職員を引き上げ、区民サービスが低下しないと言いくる根拠について

A. 福祉総合窓口は変わらず、一時的な手続は総合支所で対応する。詳細は検討中なので、今後庁内外で議論を重ね、地域とのつながりや利便性を維持しつつ、専門的な知識を生かしながら、サービス環境を確保、地域の顔である職員は、所属が本庁になった後も、丁寧なケースワーク、アウトリーチに取り組むことで、信頼関係を継続する。



Q. 費用対効果と税金の無駄遣いについて

A. 民間ビルにかかる約20億円は、敷金や賃料、工事費や什器費用、整備移転費用の総額で、現在も精査を進めている。



Q. デジタル窓口の推進について

A. デジタル化の潮流を踏まえ、予約窓口の充実や、職員が作業するバックヤードのペーパーレス化等、デジタル窓口を推進する。

Q. 台場分室における業務改善について

A. マイナカード業務について、課題の解消や体制整備を進め、令和7年度末までに台場分室でのマイナカード更新一部業務改善を進めます。

防災について

Q. エレベーター用防災チェア等の普及について

A. エレベーター用防災チェア等を、多くの共同住宅に備えられるよう、防災力向上のため配付対象の要件緩和も視野に入れる。

Q. 富士山噴火被害想定について

A. 道路等の降灰集積場所等、東京都と協議し、仮置き場の候補地を定めるなど、港区業務継続計画改定を含め、具体的な降灰対策を進めます。

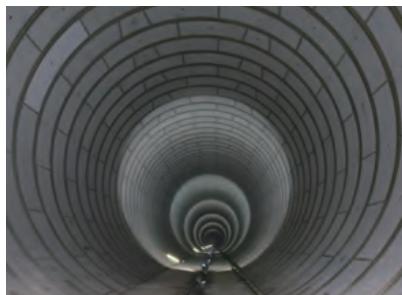


Q. 避難所ごとに必要な物資を保管すべき

A. 限りある防災備蓄倉庫に不可欠な飲料水、食料、毛布、携帯トイレなど優先し、近隣の民間備蓄倉庫も活用し配備している。

Q. 地下調節池の整備を東京都に要請することについて

A. 古川上流の新並木橋から渋谷橋付近に新たな調節池の整備が計画されている。東京都知事との意見交換で要請していく。国にも東京河川改修促進連盟の要望活動等で予算措置等を要請する。



東京都建設局ホームページから引用

教育・こどもまんなかについて

Q. 文化・伝統の継承について

A. 昔遊びや茶の湯、生け花などの日本文化を体験・紹介する活動により日本の伝統や文化を学習している。また、言語・共生・伝統の3つの領域で体系化した国際理解教育プログラムを策定した。

Q. サイエンス教育の推進について

A. 実体験を通して科学を探求する活動について、理科指導で連携しているお茶の水女子大学と、みなと科学館、教員で構成している港区教育研究会理科部の三者協働で先進的なプログラムを研究していく。

Q. 休日保育の申請手続について

A. 必要書類の簡素化、申込締切日や書類の提出先の見直しなど、利用者はもちろん保育園においても負担にならないよう令和8年4月までに改善する。

Q. 私立幼稚園連合会と協議が整わない状況下で審議会を開催しないことについて

A. 公私立幼稚園調整審議会は、幼稚園を新たに設置するといった重要事項を審議する場だと認識しており、条例の趣旨を逸脱するものは考えていない。

高齢者・障がい者福祉について

Q. 高齢者への緊急支援について

A. みなとく PAY の利用促進や、令和8年2月までの期間、一人最大4万8千円相当の区独自のポイント還元事業を実施している。

Q. 物価高騰を踏まえ高齢者への緊急的な生活支援の検討について

A. 国などの動向も踏まえ、高齢者の日常生活の支援や経済的負担の軽減につながる取組について、検討する。

Q. 高齢者への直接的な負担軽減策について

A. 多様化するニーズを的確に捉え、必要な取組の時期を逃さず、効果的な事業の立案など、積極的な高齢者施策の推進に取り組む。

Q. 福祉施策の維持・向上に向けた取組について

A. 年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが健やかで自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けて、港区保健福祉基礎調査の結果や意見・要望を分析し、効果的な施策を積極的に立案し、実施する。

東京湾大華火祭について

Q. 東京湾大華火祭について

A. お台場海浜公園、芝浦ふ頭、品川ふ頭の活用の可能性について、東京都港湾局など関係機関と協議し、観覧会場の設置、警備計画の策定に取り組む。



物価高騰対策について

Q. 物価高騰に即した工事費等の算定について

A. 歳入歳出決算における余剰金は、公共施設整備基金や教育施設整備基金などに積み増し、今後の財政需要に備えることで持続可能で将来世代に負担をかけない堅実な財政運営に取り組む。

Q. 固定資産税や相続負担軽減等の国や東京都への要請について

A. 住み続けたいと思う区民が安心して暮らし続けられるよう、区民が抱える悩みや不安などの声を、あらゆる機会を捉え、国や東京都に伝えていく。

産業振興について

Q. 区内の事業者が潤う施策構築と展開について

A. 小規模事業者では、支援制度の情報収集に課題があることから、企業巡回相談員を通じて、区の支援制度を積極的に周知する。

Q. スタートアップと中小企業との連携推進について

A. スタートアップと中小企業との連携に向けた取組の拡充や交流セミナーの機会を通じて、共創パートナーを仲介役とし、事業者同士の出会いの機会を創出する。

町会・自治会について

Q. 町会・自治会に対する物価高騰下での補助金の増額について

A. 食料品や光熱費などさまざまな物価が高騰し、祭りなどの地域行事、活動に支障がないよう、物価高騰を考慮した町会・自治会の団体活動費補助金について検討する。

環境・交通について

Q. 羽田新飛行経路の海上ルート活用の要請について

A. 国は令和7年中に、「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」を開催する予定。区は、羽田空港新飛行経路の固定化回避の早期実現に向けたさらなる具体的な要請を行う。

Q. 白金・白金台地域等ちいばす未導入区内の交通網整備について

A. 再開発等による道路環境の変化を踏まえ、走行可能なルートの調査を進める。令和6年11月からはオンデマンドモビリティ「みんなのり」の運行が始まり、事業者と連携しながら地域の交通利便性の向上を目指す。

■■ みなと未来会議 ■■

物価高対策について

- Q. 国の補正予算の動向を捉え、迅速な支援を行うこと
A. いち早い事業実施に向け、スピード感を持って取り組む。

区役所改革について

- Q. 区が示した「将来に向けて持続可能な区役所への改革」の取組について
A. 職員アンケートや管理職のヒアリングを通じ、総合支所と支援部の役割分担、責任区分の不明確さや統一対応への調整負荷、職員の専門性継承の困難さが明確になった。総合支所と本庁の機能を見直し、どの窓口でも一定の水準を保ったサービスが受けられるよう、デジタル技術も積極的に活用しながら体制を整えていく。
Q. 今後デジタル化をどのように進め、区民サービスの利便性向上につなげていくのか
A. デジタルで完結できるものは積極的にデジタル化し、対面での説明が必要な方には、専門性を有する職員によるきめ細やかな対応を徹底していく。

MINATO ビジョンについて

- Q. MINATO ビジョンを策定するだけでなく、区民に分かりやすく共感を呼ぶ形での発信を
A. 専門家の力も活用し、誰もが分かりやすいビジュアルに仕上げる。

住宅価格・家賃高騰対策について

- Q. 住宅価格・家賃高騰について国の動向を注視し、区としてできることを最大限検討するべき
A. 国や不動産協会などと連携を図り必要な調査を実施する。

街のみどりの保護・拡充について

- Q. 他区の事例を参考に民有地のみどりを守るための支援制度の拡充を
A. 助成金額の見直し等より一層みどりを保全できるように検討する。

高輪ゲートウェイ駅の港南側歩行者通路について

- Q. 歩行者通路の整備が迅速に進むよう、区として取組を
A. 関係機関と設計や施工方法の見直しを進め、協議を進めていく。



放置自転車の考え方について

- Q. 長時間と短時間放置を区別するなど、区民生活を損なわないよう最大限の工夫を
A. 自転車駐車場の確保等により自転車を利用しやすい環境づくりを進める。

災害対策について

- Q. 在宅避難の備えを推進するために防災カタログギフトの配布を
A. 区民参加型で選定したものから選べるようにするなど、防災意識向上のための取組を進める。

高齢者支援について

- Q. 老年人口の増加に備え、安心して住み続けられるよう高齢者福祉施設の整備やニーズへの対応を
A. 施設整備と在宅支援を両輪に、高齢者を支える区の姿を検討する。

難病者への支援について

- Q. 令和8年度以降も難病者の就労支援等先駆的な取組の継続を
A. 難病者の理解促進と雇用推進を掲げ、就労を支援していく。

ふるさと納税について

- Q. 港区の強みを生かし、戦略的にふるさと納税事業の発展を
A. 寄付データ分析を強化し、効果的な広報に努め、港区ならではの魅力的な返礼品の充実を進める。

MINATO まるごと留学について

- Q. 令和8年度も港区の特色を生かした当事業のより発展的な継続を

- A. 結果や参加者の声を踏まえ、事業の改善を進め、令和8年度以降のさらなる質の向上につなげていく。

放課後英会話教室の拡大について

- Q. 対象を中学1、2年生まで拡大し、オンライン参加も可能にするなど、英会話機会の格差の縮小を
A. 対象学年拡大やオンラインマンツーマンレッスンの検討を進め、より多くの生徒が柔軟な学習形態で参加できる環境を提供していく。



区立幼稚園の魅力向上について

- Q. 預かり時間の拡大や長期休業中の預かり等、アンケートで可視化されたニーズへの対応を
A. ニーズを的確に捉え、魅力と利便性の向上に取り組んでいく。

誰もが便利な投票環境の整備を

- Q. 大型商業施設や駅等の利便性の高い場所へ投票所の設置を
A. 札の辻スクエアを候補地として調査をする。



- Q. 共通投票所をネットワーク化すべき

- A. 他自治体の先行事例を情報収集し導入の実現性を検討する。

学級閉鎖の影響について

- Q. 学級閉鎖で学びが止まらないようコロナ禍のノウハウを活かしオンライン授業等学級閉鎖における子どもの学びや居場所の工夫を

A. オンライン授業を積極的に活用するよう各学校に指導する。

学校の代休について

Q. 共働きが多い現代では、平日の代休は見直すべき

A. 各学校に共働き家庭に負担がかかるよう指導をする。



学用品無償化について

Q. ほぼ全員が購入する雑巾も無償化の項目に追加すべき

A. 対象とする方向で検討する。

育児の負担軽減について

Q. 産前産後家事・育児支援の対象を小学生にまで拡大すべき

A. 対象年齢の拡大を検討する。

□□ 港区保守系議員団 □□

朝鮮学校だけを対象としている補助金について

Q. 新教育長になられたが、対象国を一国だけとすることを課題と考えているという過去の答弁に変わりがないか伺う

A. 制度導入時と比べ教育背景などが大きく変化していることから、補助対象校の見直しが必要であると認識している。

港区が新設を計画している中高一貫校について

Q. 東京都内 10 校の公立の中高一貫校の募集人数が令和 8 年度から一校の募集定員を上回る 205 人も削減される現実を踏まえ、港区中高一貫校設立に対する思いと、どのような教育理念で実現するつもりか伺う

A. 令和 7 年度末を目処に港区が目指す具体的な方向性をまとめ、令和 8 年度には港区立中高一貫校の具体的な方針を示す。

海外修学旅行の実施について

Q. 学校関係者だけでなく広く納税者に問うべきではないか

A. さまざまな機会を捉え、広く意見を募り、多くの区民の理解を得ながら事業が実施できるよう努めていく。

水辺を向いた街づくりにおける課題について

Q. 水域活用に関して区に権限がないことから自由に計画が立案できないことをどう考えるか

A. 東京都知事に対し、運河の水質改善の要望と合わせて、水辺について区との連携強化を呼びかけた。今後は東京都を含めた行政機関や水辺の関係者によるネットワークの構築など機動力や実行力を高める仕組みを検討していく。



北朝鮮による拉致問題について

Q. 拉致問題解決の糸口が見えた今こそ区の取組を強化すべきでは

A. 国や東京都との共催による大規模な啓発事業の実施を調整している。

Q. 港区立高陵中学校で開催された家族会による講演の反応と今後の開催予定は

A. 生徒が人権について学ぶ貴重な機会になった。今後も着実に実施できるよう調整する。

区立小・中学校の在り方について

Q. 区立学校の人事権は東京都が掌握しているという権限のねじれについて課題認識は

A. 区独自の教育方針に必要な人材配置を柔軟に行えないことがある。また学校運営に関する責任が明瞭でないことが課題である。

Q. 権限のねじれによる影響は

A. 区のみで円滑に柔軟に対応することや早期の解決を図ることが困難な場合がある。

Q. 区立学校発生事案について

A. あってはならない事案である。

学校いじめ対策組織について

Q. 家庭から申し出があった場合は必ず開催しているのか

A. 教育委員会では開催していると認識している。

教育長の見解について

Q. インターナショナルスクールに通うことが課題という認識なのか

A. 就学義務の履行とされず進路選択上の不利益を受ける可能性がある。

□□ 公明党議員団 □□

物価高対策について

Q. 世代や属性に偏りなく、早期に支援を届けるべき

A. あらゆる世代にいち早く必要な支援を届ける。



分譲マンション価格高騰について

- Q. 国の調査結果を生かし、区民への影響などを調査検証すべき
A. 国や不動産協会などと連携を図り、必要な調査を実施する。

食品ロス削減の推進について

- Q. 政府の新たな方針を踏まえゼロ・ウェイスト^{*1}を目指し取り組むべき
A. あらゆる媒体を活用し区民や事業者に周知・啓発するなど取り組む。

家族的な人間関係構築の居場所を

- Q. 多世代が交流できる家や職場と異なる第三の居場所の提供を
A. 多様な世代が交流できる居場所など効果的な取組を検討する。

多胎児支援の強化について

- Q. 多胎児ハンドブックやオンライン受付の強化などすべき
A. 周知の工夫とアクセスしやすい環境整備に取り組む。

AI カメラの活用について

- Q. AI カメラを用いた安全対策の導入や実証を検討すべき
A. 調査・研究を行っていく。

小中高の一貫教育について

- Q. 新設の都立高校と区内小・中学校との連携等を進めることについて
A. 連携型等の中高一貫校や地域の区立小・中学校との連携を検討する。

読書スペースの充実について

- Q. 限られた校舎でも工夫して本と出会う場を整備すべき
A. 好事例を共有・研究する場を設け、さらなる充実に努める。

メタバース環境の整備について

- Q. メタバース環境の整備を区として行うべき
A. 東京都と連携しながら進める。

奨学金代理返還制度について

- Q. 奨学金の代理返還制度を区内企業に周知し、強化していくべき
A. 内容を周知していく。

区立学校の教育無償化について

- Q. ベーシックサービスに基づき所得制限なく完全無償化すべき
A. 効果的な手法など検討する。



防犯カメラ設置について

- Q. さらなる補助の拡充をすべき
A. 適宜適切な内容に見直す。
Q. 通学路等危険個所への設置の偏在について区の受け止めを伺う
A. 補助事業の見直しとともに、区独自のカメラの設置に向けた調査も並行して進める。

放課後等デイサービス事業所への弁当配達について

- Q. 学童クラブ等弁当配達事業を放課後等デイサービス事業所に対象拡充を
A. 希望する事業所が弁当配達を利用できるよう、事業所へのヒアリングの実施や、事例を共有する。

障がい福祉サービスの質の向上について

- Q. 研修の受講率向上に向け、区が積極的に関わるべき
A. 各事業所に調査を実施し、現場職員の研修機会の拡充や受講率の向上につながる取組を進める。

緑内障検査について

- Q. 検査実施の検討状況を伺う
A. 令和 8 年 1 月に第 1 回検討会を開催し、令和 8 年度中に結論を出す。

インクルーシブスポーツ^{*2}の普及推進について

- Q. 積極的な取組を
A. みんなとジョイスポーツ事業で採り入れるなど環境充実に取り組む。



港区版ふるさと納税制度について

- Q. 制度を生かした商店街の活性化につなげることについて区の見解は
A. 港区商店街連合会加盟店による体験型返礼品の提供拡充を計画している。

富士山の噴火に伴う火山灰の対策について

- Q. 早く港区地域防災計画に取り入れるべき点について区の見解は
A. 東京都と協議を進めており、今後具体化したものについて速やかに防災計画に加えていく。

東京湾大華火祭について

- Q. 港区、中央区が区政 80 周年記念に向けて記憶に残るような事業にすることについて区の見解は
A. 東京港という貴重な地域資源を生かし感動的な大会となるよう取り組んでいく。

みなとタバコルールについて

- Q. 過料の導入をするべき
A. みなとタバコルールの取組を強化していく。

母子生活支援施設について

- Q. 子ども食堂などと連携した母子の自立に向けた支援の強化を
A. 子ども食堂等地域の関係機関と連携し入所者をフードパンtryー等の地域の支援につなげていく。



*1 ゼロ・ウェイスト：無駄や浪費をなくして、ごみを出さないこと。

*2 インクルーシブスポーツ：障害の有無や年齢、性別、文化的背景などに関わらず、誰もが平等に参加できるスポーツのこと。

置き配バッグの普及支援について

- Q. 宅配ボックスの未設置の共同住宅や戸建てに設置すること
A. 国の課題の検討を注視し、他自治体の先進事例など調査・研究していく。

特別支援学校の放課後の教室の活用について

- Q. 児童・生徒が場所を移動しないで過ごせるように東京都へ要請を
A. 令和6年10月に東京都へ要望したが課題があると回答。引き続き東京都へ要望を伝えていく。

■■ 共産党議員団 ■■

麻布米軍ヘリポート基地について

- Q. 近隣へのヒアリングの早期実施と騒音測定、大気汚染の測定を実施すること
A. 基地周辺や主な飛行ルート下の全世帯を対象に令和8年2月にアンケートを実施する。騒音調査は令和8年度実施を検討している。米軍ヘリの排気ガスはアンケートの自由記述欄で実態を把握する。

宅配ボックスについて

- Q. 設置費用助成の予算を大幅に増やして対応すること
A. 令和8年度は令和7年度の申請実績を踏まえ、当初予算で検討する。

特別養護老人ホームについて

- Q. 年金で利用できる多床室を含む特別養護老人ホームを整備すること
A. 東京都の整備方針の範囲内で、多床室の整備も検討する。



青山スクウェア

地域猫の高齢化支援について

- Q. 千代田区の「老猫ホーム＆ホスピス」等の状況を参考にボランティアの要望も聞いて、港区も地域猫の高齢化支援に取り組むこと
A. 区内の実態調査も含め必要な支援の在り方を考える。



港区スポーツセンタープールの利用休止期間中の団体利用について

- Q. 代替施設として開放する芝浦小学校のレーン貸しの料金は、スポーツセンターと同等にすること
A. スポーツセンターと同一とするとは考えていない。

学校給食費無償化について

- Q. 私立学校等に通う子どもたちにも区立と同等の給食費相当額を支給すること
A. 子育て世帯への支援については、総合的な子育て支援の在り方の中で慎重に検討していく。

■■ 港区れいわ新選組 ■■

就職氷河期世代の支援について

- Q. 就職氷河期世代の問題の大きさを認識の上、国や民間企業と協力し独自の支援を行うべき
A. 就職面接会の参加を効果的に促す。経営者や人事担当者に人材活用に関する情報提供を行う。
Q. 区が独自に就職氷河期世代の採用を推進すべき
A. 就職氷河期世代の採用試験の在り方を検討するよう特別区人事委員会に要望していく。

会計年度任用職員の待遇改善について

- Q. 処遇のさらなる見直しやフルタイム雇用について検討すべき
A. 一般事務補助員の職を細分化し、職務内容に応じて報酬額を見直すなど、待遇を改善する。

【各会派の連絡先】

不在の場合は、区議会事務局へ
電話 03-3578-2911

自民党議員団

電話 03-3578-2927
FAX 03-3578-2909

みなと未来会議

電話 03-3578-2948
FAX 03-3578-2854

港区保守系議員団

電話 03-3578-2960
FAX 03-3578-2936

公明党議員団

電話 03-3578-2935
FAX 03-3578-2937

立憲民主党議員団

電話 03-3578-2938
FAX 03-3578-2949

共産党議員団

電話 03-3578-2945
FAX 03-3578-2947

港区れいわ新選組

電話 03-3578-2961

都民ファーストの会

電話 03-3578-3220

小倉りえこ

電話 03-3578-3210



常任委員会の活動記録

●議案名、概要

○主な質疑



※議案は概要のみ掲載しています。
詳しくは、左の二次元コードを読み取り「議案一覧」をご覧ください。

総務

●区長報告第9号 専決処分について

港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築工事請負契約の変更

●区長報告第10号 専決処分について

港区立三田いきいきプラザ等電気設備改修工事請負契約の変更

●区長報告第11号 専決処分について

竹芝橋改修工事請負契約の変更

●区長報告第12号 専決処分について

東麻布一・二丁目地区電線共同溝整備工事請負契約の変更

●区長報告第13号 専決処分について

港区立特別養護老人ホーム白金の森等機械設備改修工事請負契約の変更

●区長報告第14号 専決処分について

東麻布二丁目公共施設整備工事請負契約の変更

○全ての協定自治体から協定木材を調達できない理由

○当該施設を管理する所管及び適切な管理体制

●区長報告第15号 専決処分について

港区立赤羽小学校連絡通路等整備工事請負契約の変更

●区長報告第16号 専決処分について

港区立御田小学校新築に伴う電気設備工事請負契約の変更

●区長報告第17号 専決処分について

港区立御田小学校新築に伴う機械設備工事請負契約の変更

●区長報告第18号 専決処分について

港区立西麻布二丁目児童遊園整備工事請負契約の変更

●議案第111号 令和7年度港区一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ15億7,725万9千円を追加し、総額をそれぞれ2,106億1,368万9千円とする

○不十分な総合支所制度の総括、検討が根拠不足のまま必要経費を補正予算に計上した理由とその責任

○区役所改革を今こそ進めるべき意義と区民への丁寧な説明

●議案第112号 令和7年度港区国民健康保険事業会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ2,287万1千円を追加し、総額をそれぞれ252億5,521万3千円とする

○納付金が不足した理由

○今定例会での補正予算計上の経緯

●議案第113号 工事請負契約の承認について

港区立芝公園管理事務所新築工事について、工事請負契約の承認を求める

○改築後の倉庫の活用方法

○日よけ施設等の設置の検討

●議案第114号 工事請負契約の承認について

港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改修に伴う機械設備工事について、工事請負契約の承認を求める

●議案第115号 工事請負契約の変更について

港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築に伴う電気設備工事について、契約金額を変更する

●議案第116号 工事請負契約の変更について

港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築に伴う機械設備工事について、契約金額を変更する

●議案第117号 工事請負契約の変更について

港区立白金台いきいきプラザ等大規模改修工事について、契約金額を変更する

●議案第118号 物品の購入について

港区立白金台いきいきプラザ及び港区立白金台児童館什器等を購入する

○備品に協定木材を使用する運用方針等の有無

○購入物品の単価、数量の検討過程及び妥当性

●議案第119号 物品の購入について

芝浦港南地区総合支所等施設情報発信用デジタルサイネージ機器を購入する

○購入物品を選定する際の理由

○購入物品に全庁統一的な規格基準を設けること

●議案第120号 物品の購入について

介護予防個別支援システム用端末機等を購入する

○当該案件が議案となる根拠

●議案第121号 物品の購入について

区政情報発信用デジタルサイネージ機器を購入する

○総合支所のデジタルサイネージに表示される区政情報の発信方法

○既存物品の処理及び廃棄する場合の金額

●議案第122号 物品の購入について

システム共通基盤用ソフトウェアを購入する

○ガバメントクラウドの活用の検討

●議案第126号 港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区議会議員の議員報酬の額等を改定する

●議案第127号 港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区長等の給料の額等を改定する

●議案第128号 港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、教育長の給料の額等を改定する

●議案第129号 港区常勤の監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、常勤の監査委員の給料の額を改定する

○港区長の給料等の改定額における退職手当の額

○報酬等審議会の答申を受けて区長からの意見の有無

●議案第130号 港区職員の給与に関する条例及び港区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を受け、職員及び会計年度任用職員の給与の改定等をする

●議案第131号 港区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を受け、特定任期付職員の給与を改定する

○特別区人事委員会の勧告が国の人事委員会の勧告の改定率を上回った背景

○港区の物価を踏まえた給料表改定の検討

●議案第133号 令和7年度港区一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ3億6,633万7千円を追加し、総額をそれぞれ2,090億3,643万円とする

○人件費を増額することによる区財政への影響

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

◇誰もが安心して利用できる窓口づくりに向けた取組

◇土地（白金台二丁目）の寄付受領及び用途の方向性

◆行政視察

・震災遺構仙台市立荒浜小学校を活用した防災対策及び啓発について（仙台市）

・共通投票所の利用状況及び諸課題について（函館市）

保健福祉

- 議案第104号 港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例
大規模改修工事の実施に伴い、白金台いきいきプラザの敬老室の仕様を変更する
- 事務手続きの簡素化
- 利用者へのアンケート

- 議案第105号 港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
国の「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」の一部改正を踏まえ、児童福祉施設の職員の資格要件等を変更する
 - 健康診断と健康診査の違い
 - 検査内容及び結果の共有方法
- 議案第106号 港区一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の一時保護施設の設備及び運営に関する基準」の一部改正を踏まえ、一時保護施設の職員の資格要件等を変更する

- こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得可能要件
- 港区役所内のこども家庭ソーシャルワーカーの資格取得者数

- 議案第107号 港区幼保連携型認定こどもの学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
「児童福祉法」等の一部改正に伴い、条例で引用している条項番号の変更等をする

- 議案第108号 港区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び港区指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
国の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」等の一部改正を踏まえ、家庭的保育事業等を利用する乳児又は幼児の健康診断に関する基準等を変更する

●議案第109号 港区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

国「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準」の一部改正を踏まえ、指定障害児通所支援を利用する障害児の健康診断に関する基準を変更する

- 各施設への周知方法

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇港区立白金台いきいきプラザ及び港区立白金台児童館什器等の購入

- ◇港区立赤羽幼稚園等複合施設における小規模多機能型居宅介護施設の運営事業候補者の公募

◆行政視察

- ・子どもの権利条例に基づく子どもの意見反映の仕組み及び成果について（青森市）
- ・児童相談所における地域に即した支援体制及び連携について（札幌市）

建設

- 議案第102号 港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例
「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」等の一部改正に伴い、マンションの建替え又は更新をする場合の高さ制限の特例に係る手数料等を定める
 - 耐震化に関する案内の一元化
 - 危険なマンションと判断するに当たっての指針の公表及び判断をする際の資格の有無
- 議案第103号 港区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例
赤羽橋駅自転車駐車場を新たに設置する
 - 歩道の植え込みで歩行者と自転車を分けることの是非
 - 定期利用の平置き自転車駐車場の需要

●議案第123号 特別区道路線の廃止について
高輪二丁目地区の開発事業の施行に伴い、特別区道路線を廃止する

- 区道を民間開発に伴い廃止する判断とプロセス
- 今後同様の相談があった際の対応

●議案第124号 特別区道路線の認定について
南青山三丁目地区の開発事業の施行に伴い、特別区道路線を認定する

- 隣の建設中のビルの公開空地の公開
- 地元町会からの要望

●議案第125号 特別区道路線の認定について
品川駅北周辺地区土地区画整理事業の施行に伴い、特別区道路線を認定する

- 国道15号線との接続
- 特別区道第241号線との接続

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇赤坂六・九丁目道路整備工事（舗装改良）

- ◇土地（白金台二丁目）の寄付受領及び用途の方向性

◆行政視察

- ・大分駅前再開発事業大分いこいの道について（大分市）
- ・別府景観まちづくりについて（別府市）
- ・一人一花運動について（福岡市）



南青山三丁目特別区道路線視察の様子

区民文教

- 議案第110号 港区立学校施設等使用条例の一部を改正する条例
学校屋内プールにおける区外からの使用者に対する使用料及び団体がプールをコース単位で使用する場合の使用料を定める
- 時限付きの試行実施をしなかったこと
- 区外からの使用者の利用時の登録

●議案第132号 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の給与を改定するほか、「教育公務員特例法」の一部改正に伴い、校務類型に係る業務の困難性等を考慮して義務教育等教員特別手当の額を定めることとする

- 幼稚園教育職員の令和3年度の月額給料との違い
- 勤務年数

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇一般財団法人港区国際交流協会に対する補助金

- ◇eLTAX（地方税ポータルシステム）を利用した個人住民税の申告（電子申告）

特別委員会の活動記録

閉会中の委員会活動

●こどもまんなか・少子化等対策

◆主な報告事項

- ◇港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくりの実施場所及び実施時期

●DX推進・行政革新等対策

◆主な報告事項

- ◇港区版ふるさと納税制度における返礼品の提供

- ◇令和7年度特別区民税当初課税状況等

●交通等対策

◆主な報告事項

- ◇令和6年港区内の交通事故概要

- ◇港区コミュニティバス「ちいばす」の運行状況

●海外修学旅行調査

◆主な報告事項

- ◇令和7年度海外修学旅行の報告等



議案等の審議結果

令和7年第4回定例会 案件名										議決結果
	議自員民団党	未み来な会議と	議港区員保守団系	議公員明団党	議立憲民主団党	議共員産団党	新港区選れい組わ	ス都民ファ会一	小倉りえこ	
区長報告 第9号	専決処分について(港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第10号	専決処分について(港区立三田いきいきプラザ等電気設備改修工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第11号	専決処分について(竹芝橋改修工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第12号	専決処分について(東麻布一・二丁目地区電線共同溝整備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第13号	専決処分について(港区立特別養護老人ホーム白金の森等機械設備改修工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第14号	専決処分について(東麻布二丁目公共施設整備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第15号	専決処分について(港区立赤羽小学校連絡通路等整備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第16号	専決処分について(港区立御田小学校新築に伴う電気設備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第17号	専決処分について(港区立御田小学校新築に伴う機械設備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第18号	専決処分について(港区立西麻布二丁目児童遊園整備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案 第102号	港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第103号	港区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第104号	港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第105号	港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第106号	港区一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第107号	港区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第108号	港区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び港区指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第109号	港区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第110号	港区立学校施設等使用条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第111号	令和7年度港区一般会計補正予算(第5号) ●歳入歳出それぞれ15億7,725万9千円を追加し、総額をそれぞれ2,106億1,368万9千円とする。	×	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案 第112号	令和7年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第1号) ●歳入歳出それぞれ2,287万1千円を追加し、総額をそれぞれ252億5,521万3千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第113号	工事請負契約の承認について(港区立芝公園管理事務所新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第114号	工事請負契約の承認について(港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改修に伴う機械設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第115号	工事請負契約の変更について(港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築に伴う電気設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第116号	工事請負契約の変更について(港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築に伴う機械設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第117号	工事請負契約の変更について(港区立白金台いきいきプラザ等大規模改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第118号	物品の購入について(港区立白金台いきいきプラザ及び港区立白金台児童館什器等)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第119号	物品の購入について(芝浦港南地区総合支所等施設情報発信用デジタルサイネージ機器)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第120号	物品の購入について(介護予防個別支援システム用端末機等)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第121号	物品の購入について(区政情報発信用デジタルサイネージ機器)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第122号	物品の購入について(システム共通基盤用ソフトウェア)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第123号	特別区道路線の廃止について(高輪二丁目)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

令和7年第4回定例会 案件名										議決結果
	議自員民団党	未来な会議と	議港区員保守団	議公員明団党	議立憲民主団	議共員産団党	新港区選れい組わ	ス都民トムフアの会	小倉りえこ	
議案第124号	特別区道路線の認定について(南青山三丁目)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第125号	特別区道路線の認定について(芝浦四丁目、港南二丁目)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第126号	港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第127号	港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第128号	港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第129号	港区常勤の監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第130号	港区職員の給与に関する条例及び港区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第131号	港区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第132号	港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第133号	令和7年度港区一般会計補正予算(第4号) ●歳入歳出それぞれ3億6,633万7千円を追加し、総額をそれぞれ2,090億3,643万円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

■ 継続審査とした案件

区長提出案件

○港区長の在任期間に関する条例(令和7年2月19日提出)

■ 皆さんから提出された請願

【審議した委員会】

建=建設常任委員会

総=総務常任委員会

区=区民教常任委員会

保=保健福祉常任委員会

環=環境等対策特別委員会

継続審査とした請願

- 環 羽田都心飛行ルートはやめ、従来の海上ルートに戻すよう国に求める請願(令和5年6月22日受理)
- 保 兄弟姉妹を同保育園に入園できるような制度改善に関する請願(令和5年9月12日受理)
- 区 都営住宅の自治会申請における設立同意書に関する請願(令和6年7月18日受理)
- 総 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願(令和6年11月28日受理)
- 建 「(仮称)港区三田五丁目計画」に関する請願(令和6年11月28日受理)
- 総 防災士資格取得費用助成に関する請願(令和7年2月25日受理)
- 総 「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」採択に関する請願(令和7年2月25日受理)
- 総 旧姓の通称使用を拡充し、第5次男女共同参画基本計画に沿った政策の推進を求める意見書の提出を求める請願(令和7年2月25日受理)
- 保 成年後見制度における区長申立に関する請願(令和7年2月25日受理)
- 区 区立本村幼稚園に関する請願(令和7年2月25日受理)
- 区 地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを求める請願(令和7年11月28日受理)

■ 請願書の書き方 皆さんのが声を区政に！

港区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願として受け付けています。

特に定められた様式はありませんが、右記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

- ① 請願は、日本語で書いてください。なお、作成に当たっては、改ざんを防止する目的から、鉛筆や、いわゆる「消せるボールペン」での記入はご遠慮ください。
- ② あて先は「港区議会議長」としてください。
- ③ 請願者の住所、氏名(署名又は記名押印)、電話番号を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定めて署名簿を添付してください。
- ④ 請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ⑤ 請願理由は趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。

提出前に、区議会事務局に請願書の書き方・提出方法などをご相談ください。

<p style="text-align: center;">書き方</p>	<p style="text-align: center;">(A4 判用紙・おもて)</p> <p>○○○に関する請願</p> <p>港区議会議長 ○○ ○○ 様 提出年月日</p> <p>請願者 住 所 氏 名 (署名又は記名押印)</p> <p>電話番号</p> <p>請願の趣旨(簡潔に) ○○を○○○してほしい。</p>
	(A4 判用紙・うら又は2枚目)
	<p style="text-align: center;">請願理由</p> <p>請願の趣旨に沿った 具体的な内容を ご記入ください。</p>

【問い合わせ・提出先】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

一時保育のお知らせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、生後4ヶ月から就学前のお子さんをお預かりします。以下の締切日までに、区議会事務局へ電話等でお申し込みください。

なお、会議の開会予定については区議会ホームページ等でご案内しています。

申込締切日

- ・本会議（議員の代表・一般質問、区長の施政方針・所信表明及び定例会最終日）
→傍聴を希望する会議の3日前（土曜日、日曜日、祝日を除きます。）まで
- ・その他の会議（委員会、上記以外の本会議）
→傍聴を希望する会議の7日前（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除きます。）まで

問い合わせ・申し込み　区議会事務局　議会総務係（電話 03-3578-2911）

区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか？

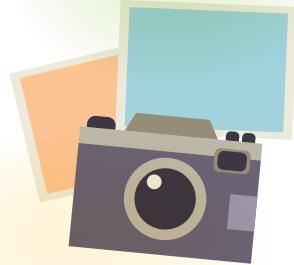
次回4月発行予定の「区議会だより」の表紙を飾る写真（デジタルデータ）を募集します。

写真のテーマ

私が好きな港区の風景（発行月（4月）の季節にあった風景）

応募規定

- 1.区内で撮影された横向き写真
- 2.10MB以下のJPEGデータ
- 3.未発表で、応募者自身に著作権がある写真に限ります。
- 4.組み写真、合成写真は不可とします。
- 5.人物や個人の所有物を撮影した場合は、必ず被写体（未成年者の場合は保護者）または所有者の承諾を得てください。



応募方法

URLからの応募

以下の応募フォームURLから提出してください。

<https://logoform.jp/form/Mt5V/339622>



窓口または郵送による応募

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、撮影場所、撮影日、写真タイトル（17文字以内）を明記の上、写真データを書き込んだ外部記憶媒体（CD-ROM等）と併せて、港区議会事務局にお持ちいただき、ご郵送ください（返却不可）。

応募締切

令和8年3月10日

注意事項

～必ずお読みください～

- 1.複数の応募があった場合は、次号以降の「みなと区議会だより」の表紙等に掲載させていただく場合があります。
- 2.応募があった写真の使用権は、港区議会に帰属します。
- 3.必要に応じてトリミング等を行う場合があります。
- 4.選考は、港区議会議員で構成する「区議会だより編集委員会」で行います。
- 5.掲載作品に選定された際は、区議会だよりの表紙に氏名、写真タイトル及び撮影場所が掲載されます。
- 6.写真の募集にあたり収集した個人情報は、本募集に関する連絡にのみ使用し、本人の同意なく他の目的には使用いたしません。
- 7.応募写真に関する著作権、肖像権等の問題が発生した場合、その責任及び解決はすべて応募者に帰属するものとします。
- 8.応募された時点で、上記の記載事項すべてに承諾いただいたものとします。

問い合わせ・提出先　〒105-8511 港区芝公園1-5-25 区議会事務局　議会広報担当（電話03-3578-2920）

- ◆この「区議会だより」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ8駅、JR（品川・高輪ゲートウェイ・田町・浜松町・新橋）5駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。
- ◆個別送付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。
- ◆「区議会だより点字版」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。「声の区議会だより」はホームページにも掲載しています。

【申し込み・問い合わせ】区議会事務局議会広報担当　電話 03-3578-2920

あとがき

令和8年第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 玉木まこと
ませのりよし とよ島くにひろ
石渡ゆきこ 池田たけし

今回から、より見やすい紙面となるよう、区議会だよりのデザインを新しくしました。